

青組



エコ・シティ (イメージ写真)

## 水と緑につつまれた エコ・シティの実現





並木道(イメージ写真)



水辺のある空間(イメージ写真)

青組

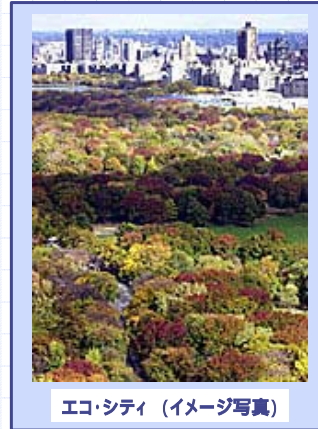
目標は『エコを最重視し、  
歴史・文化と融合した職・住・商  
近接型のセントラルシティの創造』



- (1) 環境にやさしい緑と水と風にあふれるまち
- (2) 時空を超えた職・住・商が融合するまち
- (3) 北陸のファッション、文化、情報の  
発信基地となるまち

## (1) 環境にやさしい 緑と水と風にあふれるまち

- ・コンセプトは『エコ・シティ』
- ・「杜の都・かなざわ」のもつ歴史の奥深さを感じられるまち
- ・緑と花にあふれ、水辺のある心地よい風の流れるまち



## (2) 時空を超えた 職・住・商が融合するまち

- ・歩いて、見て、感じて  
楽しいトランジットモール
- ・人の息づかいと温もりがある  
都市型居住ゾーン
- ・若者が集い、シルバー層に  
やさしいまち



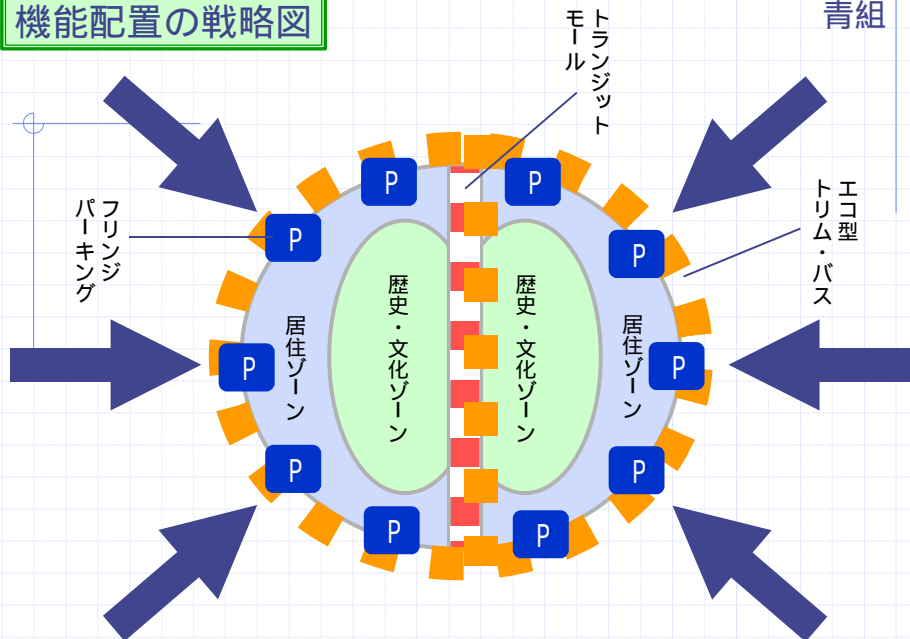
### (3) 北陸のファッション・文化・情報の発信拠点



- ・北陸300万都市のセントラル・シティ
- ・全国に先駆け情報を発信するまち(エコ・シティ宣言、トランジット・モール化など)
- ・知と遊のワクワク空間の創造



### 機能配置の戦略図



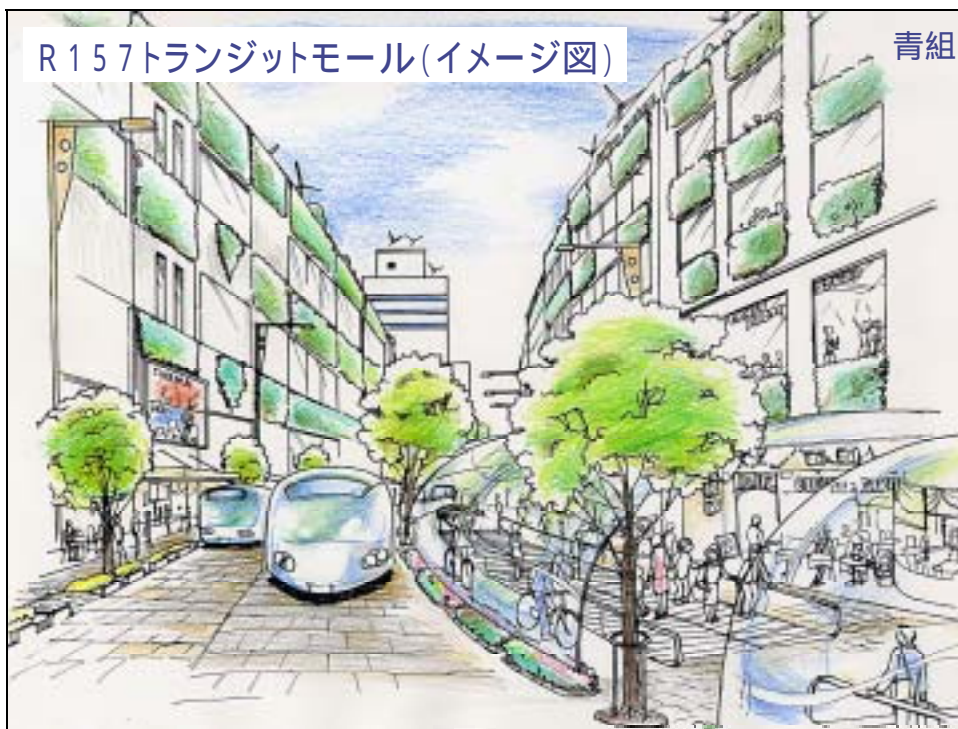
評価基準(1) 歩ける環境

『中心市街地のトランジットモール化』

- ・雨にぬれないシェルター付きムービング・ウォーク(動く歩道)の設置
- ・時空を超えた空間が融合するまち
- ・水と緑による歩行空間のネットワーク化



R157トランジットモール(イメージ図)





評価基準(2) 賑わいの創出

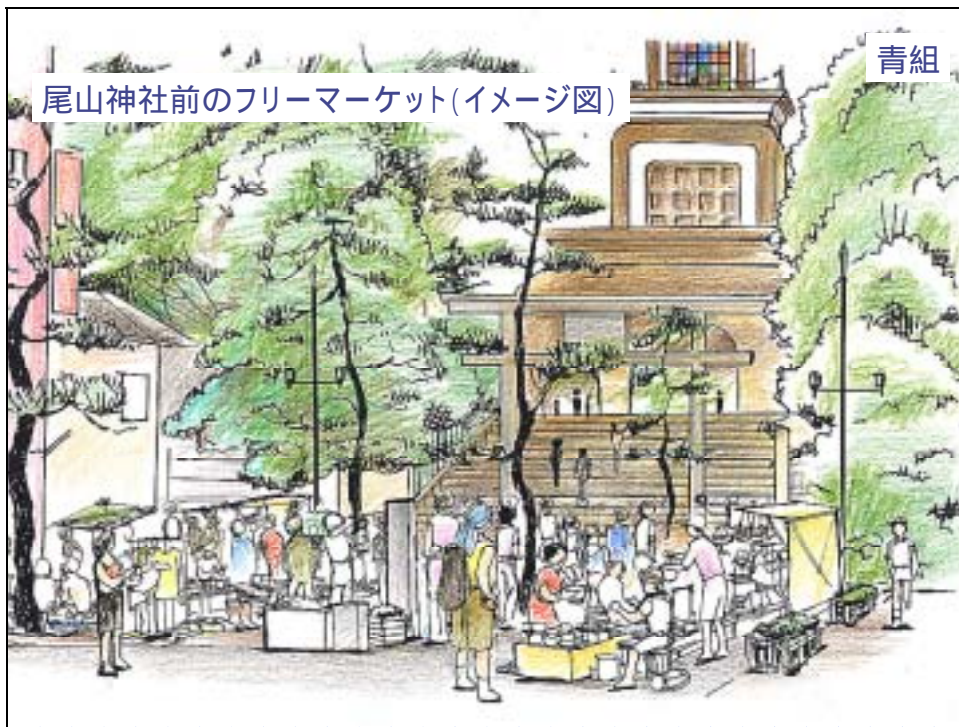
『歴史の厚み、奥行きが深さが  
感じられる都心空間の再構築』

- ・国道157号のビル低層階の商業モール化  
(オープンカフェ、ブランドショップモール、フリーマーケットなど)
- ・24時間・人の息づかいが感じられるまち



オープンカフェ(イメージ写真)

尾山神社前のフリーマーケット(イメージ図)



### 評価基準(3) アクセス交通

## 『都心まではマイカーアクセス まちなか入れば歩ける空間』

- ・居住ゾーンと  
トランジットモールや歴史・  
文化ゾーンをリンクする  
エコ型トリム・バス
- ・居住ゾーン下層階の  
フリンジ駐車場等の整備



緑に包まれたフリンジ駐車場  
(上層階は住居など:イメージ写真)

### 評価基準(4) 金沢らしさ

## 『金沢の自然、歴史・文化をベースと した水と緑につつまれたエコ・シティ』

- ・緑を増やす(木陰の散歩道、  
ビルの屋上緑化・壁面緑化)
- ・水を流す  
(鞍月用水の活用、水車など)
- ・自然エネルギーの活用  
(ソーラーパネル、風力発電)



